



一年目職員からのメッセージ

志望動機

教育や科学技術等の振興を通じて、この国の未来のために働くというやりがいと責任感に大きな魅力を感じたことが一番の理由です。また、官庁訪問等を通じて職員の方とお話する中で、仕事に対して前向きな方や、優しい方が多いという印象を持ったことも志望理由の一つです。(行政/大臣官房)

未来への先行投資である文部科学省の仕事に携わりたいと思い志望しました。特に教育現場を支える人を支えたい、それは間接的にも幼児・児童・生徒を支えることにもつながると思い、自分が行政官として少しでも役に立ちたいと思い入省を目指しました。(行政/大臣官房)

大学時代に文化財の調査に関わった経験から、日本文化や文化財の保護に携わりたいと思い志望しました。実際に文化財保護の現場に赴く中で、作業することはもちろん、未来につなげていくための取組も必要だと考え、文部科学省であればその仕事ができると思ったからです。(行政/大臣官房)

学生時代にスポーツに打ち込んでいた経験から、社会人になると仕事の忙しさ等によってスポーツをする人が減少すること

に危機感を抱いていました。社会人になってもスポーツに取り組みやすい環境を整備したいと思い、スポーツ庁を所掌する文部科学省を志望しました。(行政/総合教育政策局)

教育学部に所属していましたが、一教員としてではなく国という視点から教育に関わりたいと思い志望しました。また文部科学省が所管している4つの分野が全て、人が人らしく生きる上での土台となっている点も働きがいがあると思いました。(行政/総合教育政策局)

国籍やバックグラウンドに関係なく、誰もが安心して学べる教育環境の確立に携わりたかったからです。地方自治体での近距離の支援も重要ですが、私は文部科学省の所掌する4つの分野から、幅広く貢献したいと考え文部科学省を志望しました。(行政/高等教育局)

科学技術が進歩する中で、研究活動を推進するだけでなく、倫理面や社会的な問題を考慮し、時代に合わせて議論や制度を再構築し、指針を定め、行政の側面から科学技術と社会活動の調整役を担う仕事に興味を持ち、文部科学省を志望いたしました。(農学/科学技術・学術政策局)

仕事のやりがい

文部科学省の窓口として、他省庁との折衝や省内を取りまとめる部署に所属していますが、入省して早々に国全体に影響を及ぼすような政策に携われることや、上司とも相談しながら、自分の考えを出発点として、政策に関する調整を行えることが大きなやりがいです。(行政/大臣官房)

直接、補助金事業に携わったわけではありませんが、執行に携わった事業の現場を視察する機会があり、実際に活用されている様子を見て、より仕事を頑張りたいと思いました。内容も全国的に波及するものなので、関わる仕事の大きさを感じるとともに、やりがいを感じます。(行政/大臣官房)

決算の仕事をしておりませんが、どういった事業にどれほどの金額が使われているかを知ることができます。仕事を通して文部科学省全体の事業を会計の観点から知ることができるのは、とても貴重な体験であり、やりがいを感じています。(行政/大臣官房)

委託先から、事業に参加した子供たちの声を聞いたときに一番

やりがいを感じます。報告書に笑顔の写真が載っていると、なおさらです。(行政/総合教育政策局)

普段の業務の中では、自分の仕事かどのように社会に反映されているのかわからないことが多いです。しかし、現場を訪れたときには担当する事業がうまく活用されている事例を見てやりがいを感じました。また、国の仕事は社会情勢に大きく影響されることから、自分の業務が今の社会のトレンドになっていると、国単位での仕事であると強く感じることができます。(行政/初等中等教育局)

一般職1年目はロジ関係(日程調整等)の仕事が多く直接政策につながることは少ないですが、自身が運営する会議等で上司の方々が意見交換を交わし、その過程が自身が管轄する教育機関に大きな影響をもたらすと考えるとやりがいを感じます。また、仕事に従事していると所属課以外の教育に関する知識も自然と身に付くものなので、自身の勉強にもつながります。(行政/高等教育局)





職場の雰囲気

皆さん基本的には静かにそれぞれの仕事に取り組まれています。ですが、たまに雑談等でコミュニケーションを取ることもありますし、係や班内で飲み会等に行くこともあり、その際は皆さん砕けた雰囲気です。メリハリのある職場だと感じています。(行政/大臣官房)

業務に関することは的確にご指導いただける一方で、定時後やお昼の時間などは雑談も多く明るい雰囲気です。特に業務で忙しく余裕のなくなる時期などは、上司が少しでも和やかな雰囲気を作ろうとくださっているのが感じられ、ありがたいです。周りの方に恵まれていると日々感じています。(行政/初等中等教育局)

困ったことがあればすぐ相談できる環境で、とてもいい雰囲気です。仕事ができます!(行政/科学技術・学術政策局)

定期的にテレワークを取得される方や、勤務時間内に仕事を終わらせて定時に退勤される方が多く、働きやすい環境です。また、仕事上の事案について細かく上司と話しあうことができ、学ばせていただくことが多い毎日です。(農学/科学技術・学術政策局)

コミュニケーションが盛んに行われており、活気があります。チャレンジ精神が尊重される雰囲気の中で、様々な業務を経験することができます。上司と部下の距離が比較的近いため話しやすいこともあり、課内に一体感があります。(化学/科学技術・学術政策局)

文部科学省を目指す方へ

文部科学省は「またこの方たちと一緒に働きたい!」と思うくらい素敵な方がたくさんいる職場だと思います。大変なこともあるかと思いますが、文部科学省を目指していただいている皆さまの入省を心よりお待ちしております!(行政/大臣官房)

文部科学省にはたくさんの部署があり、同期でもやっている仕事内容は人によってバラバラです。それゆえ、同期の仕事内容を聞くのも非常に興味深いです。自分が国家公務員として働いているという重責を感じることも多々ありますが、毎日新しい発見がある職場でぜひ一緒に働きましょう。(行政/総合教育政策局)

教育、科学技術・学術、スポーツ、文化の幅広い分野で、日本の底力を育てている省庁であり、日々誇りをもって仕事ができます。入省をお待ちしています!(行政/総合教育政策局)

勤務時間外の過ごし方

定時後は同期や2、3年上の先輩と飲みに行っています!土日はジムに通ってリフレッシュしています!(行政/大臣官房)

普段は仕事に時間もキャパシティも消費しているので、休日は仕事のことは考えず、趣味に没頭しています。仕事も趣味も手を抜かないがモットーです。(行政/総合教育政策局)

職場のフットサルサークルで体を動かしています!(行政/初等中等教育局)

美術館に行ったり友達とご飯に行ったり、週末を充実させようと思っています。少し遠出した方がリフレッシュできる気がします。平日も早く帰れる時は、まっすぐ帰宅するのではなく、買い物したり映画を見たりすることでオフモードに切り替えています。(行政/初等中等教育局)

休日は、毎週欠かさず大学時代から続けている習い事に通っています。土日祝日はお休みなので予定を立てやすく、希望日に休暇を取ることできるので、自分の時間を十分に確保することが可能です。(行政/高等教育局)

休日は、サウナに行き整っています。上司から野球に誘われたら参加しています!(行政/科学技術・学術政策局)

無数の選択肢がある中で悩まれている方も多いと思います。ただ自分が就職する上で大切にしている軸と、文部科学省の業務内容や目的がマッチしていれば、自信をもっておすすめできる職場ですので一緒に働ける日を楽しみにしています。(行政/総合教育政策局)

文部科学省では教育、科学技術・学術、スポーツ、文化と様々な分野を所掌しています。どの分野も国の未来を創る重要な要素であり、非常にやりがいを持ちながら日々仕事をできています。色々考えることもあると思いますが、自分の気持ちに信じて頑張ってください!(行政/高等教育局)

進路に迷ったら、ご自身がよりワクワクすることにチャレンジしていただきたいと思っています。教育、科学技術・学術、スポーツ、文化に興味があれば、ぜひ文部科学省への入省をご検討ください。応援しています。(化学/科学技術・学術政策局)

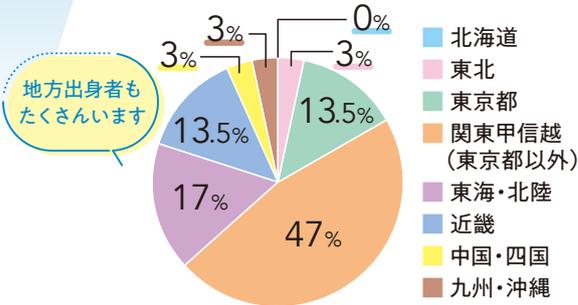
※(採用区分/現所属)



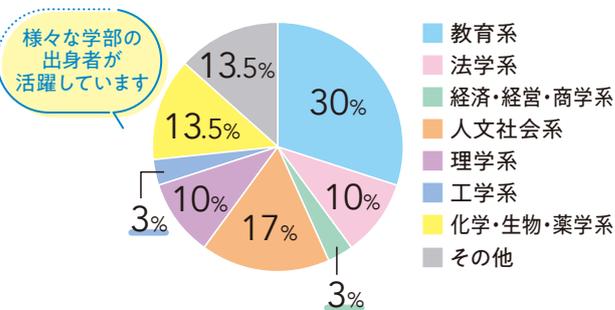
若手職員のアナケート

入省1~3年目の職員にアンケートを取り、説明会や職員訪問等でよく聞かれる質問に答えてもらいました!

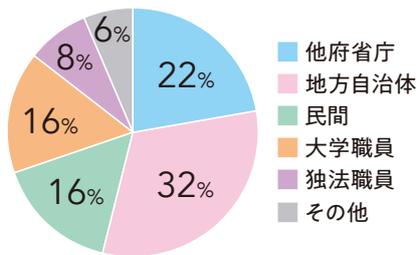
Q1 出身地域はどこですか?



Q2 大学時代の学部を教えてください



Q3 就職活動で併願した先はどこですか?



Q4 文部科学省を選んだ決め手を教えてください

- 同期が良い人ばかりだったからです。(1年目)
- 以前から興味があった文化行政の中心的な役割を担う組織であるからです。(1年目)
- 元々教育関係の企業に勤めており、様々な立場からの子供の教育に関心があったからです。(1年目)
- 国全体の教育方針の決定等ができる場所で働きたいと思っていたため、文部科学省以外の選択肢はありませんでした。(2年目)
- 自らの将来の夢であった教員の処遇・待遇を改善できる職場だからです。(2年目)
- 次の世代が科学に興味を持てる機会のある社会の構築に携われるのは文部科学省と考えたからです。(2年目)
- 教育のみならず、科学技術、スポーツ、文化など幅広い分野を担当しており、日本の未来を担う行政機関であると感じたからです。(3年目)
- 研究者と関わる仕事ができることです。(3年目)

Q5 文部科学省ならではの魅力を教えてください

- 各分野のスペシャリストと関われることです。(1年目)
- 子供たちのためならと考えると、どんな仕事でも前向きに取り組める(気がする)ことです。(1年目)
- 大学卒業までの人生で必ず経験するフィールドを対象とする業務を所掌しており、他省庁や自治体等よりも業務内容をイメージしやすいように思います。(1年目)
- 全国津々浦々の大学へ出張で行けることです。(2年目)
- 所掌範囲が広いので、日々勉強できる環境であることです。(2年目)
- 人々の暮らしや人生に大きく影響を与える幅広い分野に携われることです。(2年目)
- 教育、科学技術など幅広い分野を所掌していることです。(2年目)
- 地方の教育委員会への研修の機会があることです。(3年目)
- 「教育」は全ての人に関わったことがある部門であり、誰もが想像できる内容の仕事に関われることです。(3年目)

Q6 入省前後で感じたギャップを教えてください

- 先輩職員との距離が近くてびっくりしました(皆さんフレンドリーに接して下さいます)。(1年目)
- 役所の人は皆生真面目で堅いと思っていたが、入ってみると良い意味で皆さん人間味があった。(1年目)
- 職場の様子について、入省前は仕事の話だけ飛び交ってバタバタしているイメージがありました。今の部署では笑い話も飛び交いながら、メリハリをつけて皆さん仕事しており、忙しいときもありますが、和やかな時間も多めにギャップを感じました。(2年目)
- (想像していたより)細かなところまで決まり事やルールが多いことです。(2年目)
- 一般職年目から政策立案の中心的役割を担うような業務も多く携わることができたこと。(3年目)
- もっとお堅く厳しい人が多いと思っていたが、やさしく穏やかな人が多かったこと。(3年目)

Q7 周りの職員や職場の雰囲気をお願いします

- 係の上司をはじめ、課の職員全体に共通して、分からないことがあれば聞きやすい雰囲気がある。(2年目)
- とてもやさしく仕事に熱心で、やるときはやる、楽しむときは楽しむを徹底している。(2年目)
- 若手を大事にしようという雰囲気があるので、分からないことを聞くと丁寧に教えてもらえます。(2年目)
- 学校の先生みたいな雰囲気の方が多。(実際に学校の先生が出向で来ている場合も多い)。(3年目)
- 日中は慌ただしくなることが多いです。1日があっという間に過ぎていくと思います。(3年目)

Q8 仕事をする上で心がけていることを教えてください

- 法律に則って動いておりますので、常に何の法律で定義されているのかを意識して行動しています。(1年目)
- 自分で仕事を止めない、とりあえず相談することです。(1年目)
- 取りまとめ業務をすることが多く、省内の職員が働きやすい環境になるように心がけています。(2年目)
- 円滑なコミュニケーション。素早く業務を行う時と、丁寧に業務を行う時のメリハリを付けること。(2年目)
- 迷ったらすぐ相談。迷っている時間をもったいない。(2年目)
- 違う立場の人の考えに最大限配慮しつつ、常に落としどころを考えながら全体最適を狙うこと。(2年目)
- 健康でいることです。(3年目)
- 常に周りを気にすることにより、周囲からの情報収集、周囲との連携を迅速に進められるよう努めています。(3年目)
- みんなが気持ちよく仕事ができるように意識することです。(3年目)

Q9 最後にこれだけは伝えておきたいということをお願いします

- 休みもちゃんと取れます(笑) 年末年始は12連休でした!(1年目)
- しんどい時もありますが、リフレッシュする時はリフレッシュできます!(1年目)
- 教育・文化・スポーツ・科学技術といった文部科学省の所掌分野について、疑問や意見がある人はぜひ文部科学省の門戸を叩いてほしいです。より良い日本のために一緒にがんばりませんか!(2年目)
- 同期や先輩との繋がりを大切にしてください。(3年目)

※(入省年数)

文部科学省職員研修体系 (主なものを抜粋)

必須

任意

	役職段階別	役職段階を問わない
係員級	新規採用職員研修	個人情報保護に関する研修
	文部科学省若手育成サポートシステム (通称:メクサポ)	再就職コンプライアンス研修
	国会研修	国家公務員倫理に関する職員研修
	広報基礎研修	情報セキュリティ研修
	職員教育行政・学校教育等実務研修	総合的なハラスメント防止研修
係長級	3年目フォローアップ研修	国立大学法人等制度研修
	長期在外研究員制度	会計研修
課長補佐級	幹部候補育成課程研修	国際業務能力啓発研修 (ビジネス英語等)
	科学技術イノベーション政策研修	メンタルヘルス研修
	新任幹部業務研修	1 on 1 ミーティング (コミュニケーション充実) 研修
管理職	管理職マネジメント研修	情報システム統一研修
	新任管理者セミナー	自己啓発研修 (放送大学)
	働き方改革と女性活躍等に係る管理職員向け研修	ワークライフバランス研修 (子育て・介護世代対象)
		LGBT研修

※他省庁主催の研修も含まれます。また、内容は令和5年度のものであり、今後変更される場合があります。

職員教育行政・学校教育等実務研修

若手職員が学校や教育委員会、国立大学法人等において実務に従事することにより、地方教育行政や学校教育、社会教育等の実際についての見識と理解を深めるとともに、その経験をその後における文部科学省での施策の企画立案、実施等に活かし、国や地方における教育行政の充実に資することを目的とする研修です。研修期間は2週間～1ヶ月程度の短期と1年間の長期があります。

研修
受講者の声
研修先 | 国立大学法人

大臣官房人事課計画調整班研修係
清水 結衣 Shimizu Yui
令和3年入省 (行政)

本研修を通じ、現場との対話を重ね、政策目的と現場の乖離を多角的に検証する重要性を学びました。大学の研究等分野における、デジタル人材養成への取組や検討状況の把握、18歳人口減少下における、学生への学びに対する魅力発信、教育の質担保制度に関わる意見交換の場を経て、より効果的な政策等を打ち出すための観点、視野拡大に資する経験を積むことができました。今後、培った知見を、制度等設計や改善に寄与する傾聴力、周知戦略に裏打ちされた説明力等へつなげ、教育行政の更なる充実に向け、より一層貢献したいと思います。

メクサポ (MEXT SUPPORT:文部科学省若手育成サポートシステム)

入省1～3年目職員が安心して円滑に職務に臨めるよう、資質能力の向上等の支援を目的とした勉強会で、対象職員が参加しやすい時期に開催されています。企画・実施は、若手職員有志による企画委員会と大臣官房人事課が連携して行っています。定時後に任意参加で開催しており、テーマは「国会」「法律」「予算」「税制」などの実務的な内容や、文部科学省が推進している政策等についてで、講義とワークショップを組み合わせ形式で実施されています。

研修
受講者の声

大臣官房総務課審議班審議第二係
虻川 貴徳 Abukawa Takanori
令和4年入省 (行政)

メクサポは、それぞれのテーマについてその分野に精通している職員が講義をしてくださいます。中でも「法令」をテーマにした講義は、法令の基礎知識からやや応用的な知識を実務を交えて学ぶことができます。行政活動は法令を根拠にしていなければならない、役人として法令知識は知っておく必要があり、また、現在従事している業務の意味等を改めて認識する機会にもなり、非常に有益な内容でした。職務にあたってると実務的な疑問は多く出てきますが、それらの疑問も解消でき、事前に質問を送る機会もあるので質問をしやすい研修です。

業務内容について

Q 総合職と一般職の
職員の仕事内容は、
どのように違うのですか？

A 一般的には、総合職は主に重要法案の作成に関わる業務や政策の企画立案などを担当し、一般職はその企画内容を実現する事業の執行や管理業務などの事務処理（総務、会計等）を担当するほか、技術系はその専門性を活かす業務に携わる機会があります。ただし、文部科学省では、総合職と一般職が同じチームで共通の課題に対応したり、適材適所の観点から個人の能力や人事評価等に基づき試験区分によらない人事配置を行うこともあるため、仕事内容と試験区分の境界線が重なることもあるので、両者を完全に色分けして整理することは難しい場合もあります。いずれにしても、総合職、一般職ともに、適応力、解決力、コミュニケーション能力などが求められます。

Q 配属先はどのように決まるのですか？
希望はどれくらい反映されますか？

A 人事配置は、組織における総合的な人事戦略に基づいて決定されます。一般職は、文部科学行政の各分野の基幹的な実務を担う職員として、また関係独立行政法人等の幹部職員として活躍することが期待されているため、キャリア形成の中で、現場も含めた省内外で多様な経験を積むことにより、行政官としての広い視野と高い事務能力、専門性、マネジメント能力を身に付けてほしいと考えています。組織の考えと個人の希望を常に両立させることは難しい面もありますが、実際の人事配置の検討においては、個々の職員の能力、適性、経験のほか、本人の希望等を踏まえたうえで、各職員の職業的成長を促し支援する思いを大切にしています。

Q 文部科学省以外の機関で
働く機会はありますか？

A キャリアパスの過程で他府省庁への出向、地方自治体・国立大学法人・独立行政法人・国際機関等へ出向する機会があります。各機関への出向を通じ、ものの見方や考え方の幅を広げ、現場を通じて考え方を深める大変貴重な経験となります。

採用について

Q 文部科学省では、
どんな人材を求めているのですか？

A 文部科学省では「教育」「科学技術・学術」「スポーツ」「文化」といった幅広い分野を担当しています。これらは、「人材の育成」の観点から、いずれも極めて重要な行政分野であり、未来の動向を見据えた総合的な政策の企画・立案及びその展開が強く求められています。「人」を育て、「知恵」を生み出し、「未来」の基盤を創っていくという役割を担う文部科学省では、国づくりを支える人づくりに興味があり、将来のビジョンのための新しい感覚、柔軟な思考力とそれを現実に結びつけるのに必要な、困難な課題にも粘り強く立ち向かう気概や想いを持った方々を求めています。

Q 事務系行政官と技術系行政官の
職務上の違いはありますか？

A 試験区分に応じて、事務系採用、技術系採用とありますが、事務系行政官・技術系行政官の区別はありません。当然、高度な専門的知識を必要とする業務の場合は、事務系と技術系の背景を考慮しますが、入省後は「適材適所」で配置が決まります。これからの「変革の時代」を乗り切っていくためには、自分の専攻分野にとらわれず、幅広い視野を持って、新しい世界にどんどん挑戦していく積極性が求められます。

Q 説明会情報は
どこに掲載されていますか？

A 文部科学省一般職事務系・技術系採用ホームページに掲載しております。また、X(旧Twitter)・Facebookでも随時更新情報を投稿しておりますので、併せてご確認ください。

● 試算区分別

(単位:人)

	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (内定者数)
行政	17 (7)	23 (12)	24 (12)	23 (15)	32 (17)	22 (9)
デジタル・電気・電子		1			1	1 (1)
機械	2					
土木			1			
建築	1	2 (1)			1	
物理	3 (2)	1	1			2 (1)
化学	1 (1)	4 (1)	2 (2)	8 (4)	4 (2)	1 (1)
農学			2 (1)		1 (1)	1 (1)
農業農村工学						
林学						1 (1)
合計	24 (10)	31 (14)	30 (15)	31 (19)	39 (20)	28 (14)

※ ()内は、女性数で内数

※技術系は「行政」以外の理工系・農業系の試験区分の受験者を募集対象とし、試験区分にとられない採用を実施。
 ※令和3年度まで実施されていた電気・電子・情報区分は令和4年度以降のデジタル・電気・電子区分と同項目で計上。

● 学部卒・大学院卒の別

(単位:人)

	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (内定者数)
学部卒	19 (7)	26 (12)	25 (13)	28 (18)	34 (18)	26 (13)
大学院卒	5 (3)	5 (2)	5 (2)	3 (1)	5 (2)	2 (1)

※ ()内は、女性数で内数

※令和6年度内定者については、卒業見込者を含む。

文部科学省の 採用情報について

文部科学省HPにて、説明会情報や職員訪問等、採用に関わる情報を随時更新しておりますのでご覧ください。

で検索してください



説明会情報については
SNSでも発信しております。



X (旧 Twitter) アカウント
@mext_recruit



Facebook アカウント
@mext.recruit

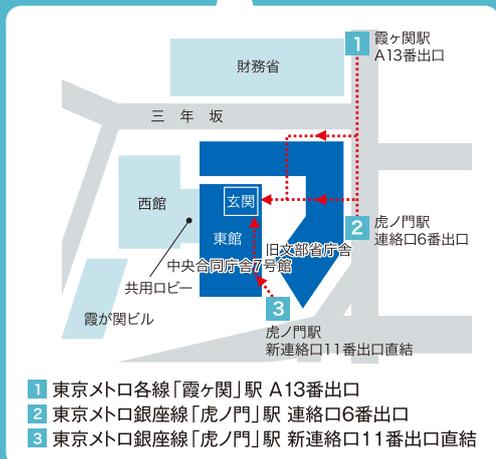




文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

文部科学省・スポーツ庁・文化庁(東京)



- 1 東京メトロ各線「霞ヶ関」駅 A13番出口
- 2 東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅 連絡口6番出口
- 3 東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅 新連絡口11番出口直結

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2
TEL 03-5253-4111 (代表)

文化庁(京都)



〒602-8959 京都府京都市上京区下長者町通
新町西入藪之内町85番4
TEL 075-451-4111 (代表)

採用に関する問合せ

TEL 03-5253-4111 (代表)

事務系

大臣官房人事課任用班任用調整係(内線2133)
E-mail: mext-s@mext.go.jp

技術系

大臣官房人事課任用班任用第二係(内線3426)
E-mail: saiyou-tech@mext.go.jp

施設系

大臣官房文教施設企画・防災部
施設企画課総務係(内線2523)
E-mail: sisetu-somu@mext.go.jp